

施策 No.	政策名	快適な暮らしのまちづくり	主管課	生活環境課	主管課長名	
5-8	施策名	生活環境の保全	関係課	なし		

1. 施策の目的と成果把握

目的	施策の対象	対象指標名	単位	区分	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
	生活環境(水質・大気・土壌)が保全されている。	①桜川市人口	見込値	人	見込値	37,653	37,269	36,885	36,500	35,897
実績値						37,653	36,794			
②市域面積			見込値	km ²	見込値	180.06	180.06	180.06	180.06	180.06
						実績値	180.06	180.06		
		見込値			見込値					
						実績値				
施策の意図		成果指標名	単位	区分	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
		①省エネなどの地球環境への負荷を軽減する行動を行った市民の割合	%	目標値	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0	
					実績値	78.9	78.5			
		②自然環境を守る行動を行ったことのある市民の割合(R4から新規)	%	目標値	64.0	64.0	67.0	67.0	70.0	
					実績値	63.5	64.4			
		③不法投棄件数	件	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	
	実績値				58.0	73.0				
	④桜川の水質(BOD)(市内の最下流「地藏橋」地点)	mg/L	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9		
				実績値	1.3	1.4				
			目標値							
				実績値						
成果指標設定の考え方	○水質・大気が保全される(環境問題への理解を深め環境保全への行動を実践すること)に対する成果指標は、市民アンケートにおいて、①「省エネなどの地球環境への負荷を軽減する行動を行った市民の割合」や②自然環境を守る行動を行ったことのある市民の割合、③「不法投棄件数」、④「桜川の水質」で把握する。									
成果指標の把握方法と算定式等	○対象の人口は、毎年10月1日の常住人口。 ○①省エネなどの地球環境への負荷を軽減する行動を行った市民の割合・②自然環境を守る行動を行ったことのある市民の割合は、市民アンケートより求める。③桜川の水質(BOD)(市内の最下流「地藏橋」地点)は、霞ヶ浦流入河川水質調査実績(委託により毎年2回調査を実施)より求める。									

2. 施策の成果水準とその背景・要因

1) 現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)			
実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した	<input type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した	<input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	
背景・要因	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネなどの地球環境への負荷を軽減する行動を行った市民の割合は、令和4年度78.9%、令和5年度は78.5%であった。前年度と比べ低下した。 ・自然環境を守る行動を行ったことのある市民の割合は、令和4年度63.5%、令和5年度は64.4%であった。前年度と比べ向上した。 ・不法投棄事件数は、令和4年度58件、令和5年度は73件であった。前年度と比べ15件増加してしまった。 ・桜川の水質(BOD)については、令和4年度が1.3mg/l、令和5年度が1.4mg/lであり、数値は0.1mg/l増加してしまった。生息する生物種による水質階級では「I きれいな水〜II 少し汚れた水」に属している。 ※水質調査法による水質階級は I きれいな水 II 少し汚れた水 III 汚い水 IV 大変汚い水の4階級に分類。 ・「自然環境を守る行動を行ったことのある市民の割合」の成果は向上したが、「省エネなどの地球環境への負荷を軽減する行動を行った市民の割合」、「不法投棄事件数」、「桜川の水質(BOD)」の成果は低下となったため、成果はどちらかといえば低下した成果水準とした。 		
	2) 成果目標の達成状況		
実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値の全てを上回った	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った	<input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった
	<input checked="" type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った	<input type="checkbox"/> 目標値の全てを下回った	
背景・要因	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネなど地球環境への負荷を軽減する行動を行った市民の割合は、目標値82.0%に対し78.5%と3.5ポイント下回った。 ・自然環境を守る行動を行ったことのある市民の割合は、目標値64.0%に対し64.4%で目標値を0.4ポイント上回った。 ・不法投棄件数は、目標50件に対し73件で、目標値を下回った。 ・桜川の水質(BOD)は、目標1.0mg/lに対し1.4mg/l目標値を下回っているが、環境基準A(BOD2.0mg/l以下)は大きく上回っている。 		

3. 施策の成果実績に対するの総括と今後の課題・方針

施策の成果実績に対するの総括	今後の課題・方針
<ul style="list-style-type: none"> ・エコグッズ配布事業については、エコグッズの配布、窓口や広報誌、市HPでの省エネ取組を掲載し周知を図った。 ・例年行われている、関東地方環境美化運動の日に合わせた「環境美化運動事業」は、参加者も多く、投棄されているゴミに対する意識の向上になり、さらには環境衛生の保全にも繋がっている ・霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦事業について、3月3日に行われ、総人員6,000人を超える方々の清掃活動により桜川周辺の環境保全に繋がった。 それぞれの事業を行ったことで、市民一人ひとりの環境に対する取り組みや意識の向上に繋がった。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きエコグッズを配布しながら、地球温暖化対策から、霞ヶ浦流域対策、ごみの散乱、不法投棄を問題提起し、市民参加型の環境美化活動、市民自らによる省エネ活動や普及促進を図っていく。 不法投棄及び水質の監視強化に努めるとともに、地域住民や関係機関と連携して不法投棄の防止に努め、マナーアップの意識啓発を行うとともに、内部組織強化として警察官OBを任用、不法投棄対策室を設置し、未然防止対策を図る。また、近年は、ケリラ投棄が多発しているため、県や警察と連携し迅速な対応を行い、環境保全に努める。